

## 令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・教科の正答率がどの学年も目標値を上回ることができており、単元で学習したことがよく定着した。
- ・社会的事象の子に関心をもち、主体的に学習に取り組む態度が育成された。

#### (2) 課題

- ・資料から読み取った情報を関連付けて考える力が伸びるように、今後も力を入れていく必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

【◎…目標値を上回った(+5以上) ○…目標値と同程度(±0～+4.9) ▲…目標値を下回った】

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	◎	/	/
第5学年	◎	○ (第4学年時)	/
第6学年	◎	○ (第5学年時)	○ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が目標値を上回っており、単元で学習したことがよく定着している。	正答率が目標値を上回っている。今後も資料から社会的事象の様子を捉えて考えることや、複数の情報を関連付けて考える力を高めていく必要がある。	目標値を上回っている。社会的事象への関心・意欲を継続して高めていく必要がある。

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が目標値を上回っており、単元で学習したことがよく定着している。	正答率が目標値を上回っている。今後も社会的事象について、様々な立場に立って考える力を高めていく必要がある。	目標値を上回っている。社会的事象への関心・意欲を継続して高めていく必要がある。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○グラフ資料から情報を読み取る手順を指導する。グラフのタイトル、出典と発行年、縦軸と横軸、全体の変化、変化の目立つ部分の順で読み取ることを繰り返し指導することで定着を図る。</p>	<p>○資料から読み取ったことを基に考える活動や、読み取った複数の情報を関連付けて考える活動を多く取り入れる。</p> <p>○人々の努力や工夫について調べた後、「なんのためにその努力や工夫をしているのか」と児童の思考を促す質問をする。</p>	<p>○児童が驚き、疑問をもつことができるように資料の提示の仕方を工夫する。</p> <p>○児童が疑問について予想し、予想を確かめるための学習計画を立てることで、見通しをもって単元を通して意欲的に追究できるようにする。</p>

#### （2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○工業地域の分布や生産額、生産されているものについて、地図帳やデジタル教材を活用して調べる機会を設ける。</p> <p>○産業と情報との関わりについては、異なる立場の人々が情報ネットワークを活用する様子を調べ、書きまとめる学習を取り入れていく。</p>	<p>○資料から読み取ったことを基に考え、表現する力を伸ばすために、読み取る際の着眼点を示し、グループ内で考えたことを共有する時間を設定する。グループで調べたことや考えたことをホワイトボード等にまとめる学習を取り入れていく。</p>	<p>○児童の興味を高めるような時事を取り上げ、社会的な事象に触れる機会を増やしていく。タブレット等を活用し、多様な学習形態を取り入れ、児童が主体的に学んでいけるよう工夫していく。</p>